

弘法大師空海がひらいた

今高野山界隈を歩く

おたのしみよう

甲山から世羅にかけての二帯を大田庄といひ、平安時代の貴族により開かれた。その後、高野山領となり、商業の中心、交通の要衝として栄えた。芦田川沿いにひろがる古い町並みは、まるで備後の小京都だ。



芦田川沿いの土蔵群  
かわいいお顔に見える土蔵が川沿いに並ぶ。かつての繁栄の面影が今も残る町並みだ。



木造獅子頭  
今高野山の中にある丹生神社に伝わる木造のお面(国重文)。鎌倉時代の正安3(1301)年の文字がある。

町の至るところにレトロな消火栓が点在している。



神之橋は今高野のシンボル



今高野山総門  
中世大田庄を支配した今高野山の入口にあたる門(県重文)。大きなわらじがシンボル。仁王門とも呼ばれている。



まっ赤な欄干が目印  
赤い欄干が美しい弘法橋は今高野山通り入口のシンボルだ。



ヒト専用の細長い橋  
芦田川沿いを歩くと小路幅と同じような細長い橋がいくつか目にとまる。ゆったりとした時代があったのだ。

町内はまるで美術館  
世羅町が生んだ彫刻家・杭谷一東氏。町のいたる所で大理石を使った作品を見ることができる。



彫刻があるところ



芦田川の桜並木  
甲山から旧世羅町エリアに入ると川沿いに桜並木が続く。お花見シーズンは多くの人で賑わう。



今高野山通りで建物観察  
重厚な造りの元旅館、格子と白壁のコントラストが美しい町家。かつての繁栄の名残を感じさせる建物がたくさんある。



古城山展望台  
かつて今高野山の山城があった古城山。ここから甲山、世羅の町が一望できる。現在は中世の山城を意識した展望台になっている。



世羅高校  
全国高校駅伝大会で5度の優勝を誇る名門高。気軽に挨拶を交わせる生徒がさわやかだ。



大田小学校



豆腐屋 千達  
地元世羅産の大豆を使った豆腐屋千達の直営店。背い子を利用したユニークな看板が目印。



レトロな看板いろいろ  
唐まんじゅう屋の木製看板、薬局の木製チャンネル文字、たばこ小売所のホーロー看板など町を歩けばレトロな看板がいろいろある。

